

課題解決的な学習過程を通して「分かるうれしさ」「学ぶ楽しさ」を実感する「わくわく」学びづくり ～「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」との関連～

「わくわく」学びづくりにおける大切にしたい「子どもの活動」

- ・疑問をもつ
- ・予想する
- ・計画立てる
- ・調べる
- ・整理する
- ・共有する
- ・つなぎ（げ）合う
- ・捉えなおす
- ・意味づける
- ・価値づける
- ・自分に戻す
- ・最適な課題解決を模索する

単元を貫く課題とは・・・

学習内容に対する子どもの「驚きや不思議さ、危機感・切実感、憧れ・未来像」の解決や実現に向けた「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適な学び」を生み出すエネルギー源であり、「児童と教師がともに紡ぐ授業」における大いなる道しるべ

I 単元全体における追究活動

1 学習内容との出会いと単元を貫く課題の設定

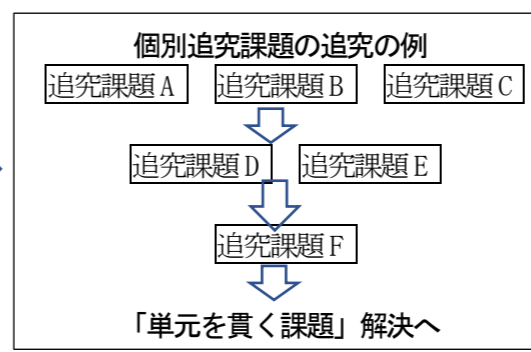
初発の反応・疑問の例
 ・なぜ☆☆はそうなるのか？【驚き・不思議】
 ・〇〇が正しいと思う。
 ・◇◇はなくなってしまったと思う。【危機感】
 ・■■できるといいなあ。【夢・憧れ】

単元を貫く課題の例
 ・☆☆の不思議を解き明かせ！
 ・〇〇と△△はどちらが正しいか？
 ・◇◇はこれからどうなっていくのか？
 ・■■に挑戦しよう！

2 個別追究課題の設定

個別追究課題の洗い出しの例
 追究課題A 追究課題B 追究課題C
 追究課題D 追究課題E 追究課題F
 追究の順序の決め方の例
 ・追究活動の特質（基礎的→発展的）
 ・他の追究課題との関係性（直列？並列？）
 ・追究活動の難易度（低→高）
 ・河川の水源（複数）～河口（単数）の形態

3 個別追究課題解決の流れ



4 「単元を貫く課題」の解決

「単元を貫く課題」解決の例
 ・☆☆が不思議に思えたのは、◆◆が◎◎のような動きをしたからだ。
 ・〇〇と△△はどちらもメリットとデメリットがあるが、総合的には△△の方がリスクが少ない。
 ・◇◇はこのようにしていけば、さらに成長が見込まれる。
 ・□□や▽▽を身に付けることで■■が実現できた！

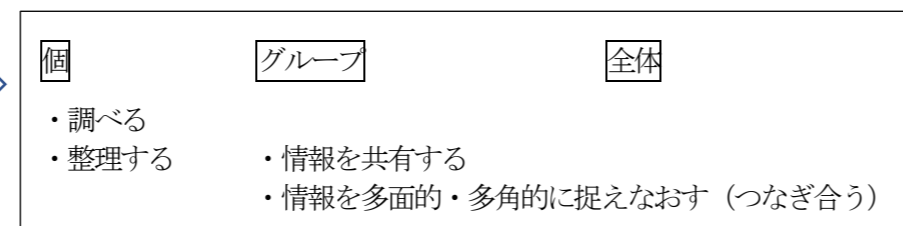
II 本時における追究活動

1 個別追究課題についての確認

・目的と目標
 ・内容と手順
 ・単元における位置づけ

2 追究活動① ※「深くはない」学び

(暗記的・個別的) 情報・知識



3 追究活動② ※「深い」学び

(活用可能で統合化された) 情報・知識

全体
 ・情報を意味づける
 ・情報を価値づける
 ・学習内容を自分に戻す

4 個別追究課題の解決

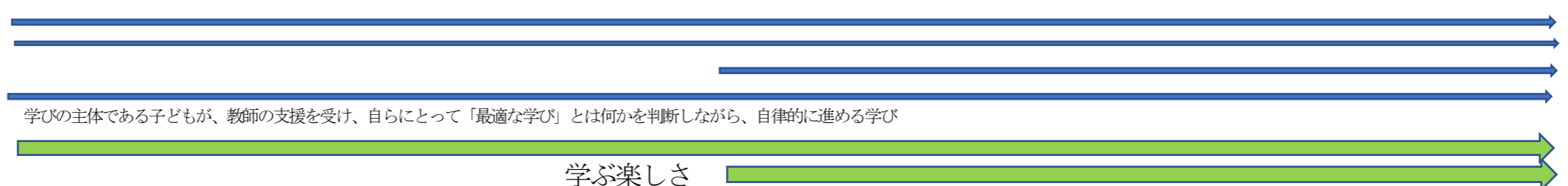
グループもしくは個
 ・自他の学びを評価する
 ・次時の学習内容への展望をもつ
 ・自他の存在や尊厳を再確認する

「深い学び」への昇華を促す教師発問・支援

主体的な学び
 対話的な学び
 深い学び
 個別最適な学び

分かるうれしさ

学ぶ楽しさ



学びの主体である子どもが、教師の支援を受け、自らにとって「最適な学び」とは何かを判断しながら、自律的に進める学び